

ゆりかご

新こばと保育所の運動会 (子供たちが創造した新病院)



工事前



工事中



新病院
完成

目次

- スタッフ紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～3
(泌尿器科・麻酔科・放射線科)
- トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～6
 1. リレーフォーライフ大分に参加しました
 2. 新人看護職員研修・プリセプター研修を行いました
 3. 院内コンサートを開催しました
 4. 診療連携集談会を開催しています
- 各種チームの紹介・・・・・・・・・・6～7
 1. ICTチーム
 2. 褥瘡対策委員会
- 新任医師紹介 (新任常勤医師1名)
院内研修会・研修報告会・・・・・・・・・・7
- 新病院建設進捗状況・・・・・・・・・・8

泌尿器科の紹介です

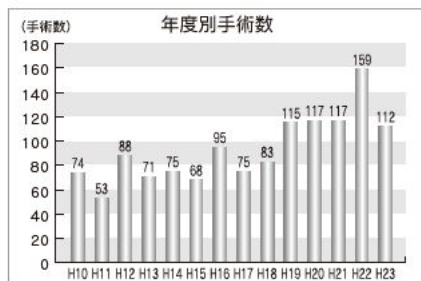
今年の春から泌尿器科に配属されました医療秘書の近藤です。私から見た泌尿器科を紹介します。

“泌尿器科”と聞いて最初にイメージしたことは「大まかに尿および性器に関する領域なんだろう」、「できれば受診を避けたい診療科だな」ということでした。患者さんからも「なんとなく恥ずかしい病気」、「ためらい、なかなか病院に行けなかった」という言葉を聞くことがあります。

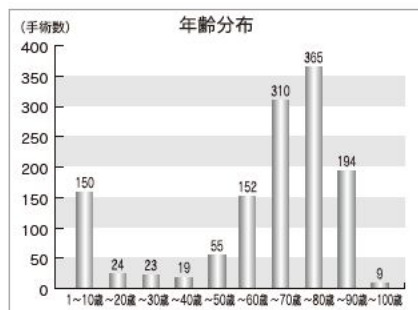
しかし、私は診療に関わり患者さんと接していくうちに、QOL（生活の質）に強く関与している科であると感じました。そして泌尿器とは毎日食事を摂るのと同様に、毎日排泄を行っている大切な器官であるということも日々実感しています。もし受診することのためらいを感じている方がいるとしたら、風邪や胃腸の病気を診察する内科と同じように安心して受診してほしいと思います。

次に泌尿器科の岩淵先生を紹介します。岩淵先生はバワフルで前向き、何事にも真っ直ぐな（周りの見えている）猪突猛進という言葉の似合う先生です。岩淵先生と仕事をしていると毎日の時間がスピーディーで、やっとひと段落ついたかと思うと、すぐにまた何かが始まり、看護師さんも私も“前を向いて（ついて）いく”がキーワードです。しかし、たまにスローペースになったとき、目の前にいる患者さんや物事に対して、真剣に考え接している心温かい岩淵先生に気づくことがあります。きっと、そんな先生だから信頼して受診される多くの患者さんがいるのだと思います。

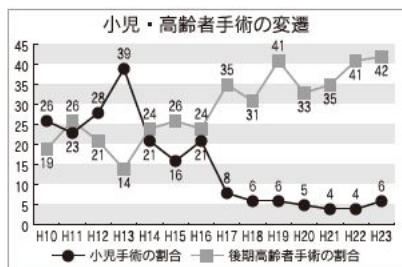
泌尿器科は岩淵先生を見て分かるように、とても元気な診療科です。泌尿器科を受診すると“気持ちも一緒に元気になれる”と患者さんに感じてもらえるよう、笑顔を忘れず努めていきたいと思えます。今後とも宜しくお願い致します。



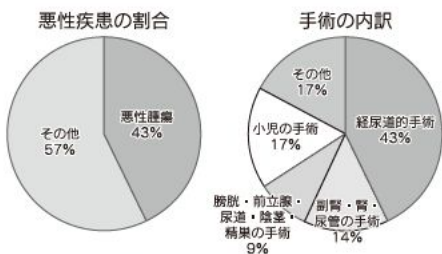
平成23年度は11月2日現在
国立病院の震後2年間も含めています。徐々に手術件数が増えています。



ご覧のとおり高齢者に対する手術が多いです。



平成23年度は11月2日現在
小児外科が併設されてから小児手術の割合が減っています。



悪性腫瘍が半数近くを占めています。

経尿道手術が約4割、開腹手術や腹腔鏡手術が約3割を占めています。

麻酔科の紹介です

中津市民病院麻酔科は、大分大学麻酔科より派遣された医師2名で構成されています。

当院で行われる、年間800例ほどの全身麻酔や、腰椎麻酔・硬膜外麻酔を担当しております。2011年7月より、日本麻酔科学会認定病院に登録されました。

麻酔科医の主な業務は「安全で快適に手術を受けていただくこと」にあります。手術中は、麻酔科医が患者さんの状態と手術の状態を見ながら、患者さんに呼吸をさせたり、補液や薬を使って血圧や脈拍が安定するように麻酔の管理に努めています。時には呼吸や循環系に重篤な事態が起こることもあります。トレーニングを積んだ専門の麻酔科医が細心の注意を払って患者さんの安全を守っております。

なお、当院では現在ペインクリニック（痛みの外来）は行っておりません。



放射線科の紹介です

放射線科は3名の医師から構成されており、九州大学放射線科から派遣されています。診療は画像診断と放射線治療に大別されます。画像診断は通常の診療では分かりにくい病気の診断をCT、MRI、ガンマカメラ、血管造影、エコーなどにより行っています。また、消化管検査の一部も担当しています。このほかIVRと呼ばれる画像を用いた低侵襲治療を行っており、大分県では2番目にIVR学会の認定施設となりました。

放射線治療は本年7月に最新のリニアックに更新され、各種の悪性疾患に対し高精度の治療を行っています。



リレーフォーライフ大分に参加しました

中津市民病院 がんセンター長・呼吸器外科部長 福山康朗

9月23日(祝日)、24日(土曜日)の二日間、大分スポーツ公園大芝生広場に第4回リレーフォーライフ大分が開催されました。リレーフォーライフとは、アメリカで始まったがん征圧へ向けたイベントです。1985年アメリカワシントン州シアトルで、アメリカ対がん協会のゴールドイー・クラット医師が、「がんに立ち向かう患者さんの勇気を讃え、彼らを励まし支援したい」との想いから、24時間大学のグラウンドを走り続けたことがきっかけです。翌年からは、交代で24時間歩くウォーキング



イベントとして広がっていきました。現在では地域社会全体でがん征圧のための絆を深め合う催しとして、全米5000カ所、世界20カ国で開催されています。日本では、今年が6年目で全国26カ所で開催されました。大分での開催は今年で4年目になります。その規模、参加者数、募金金額は、なんと日本一です。県北地域からは宇佐高田医師会病院、中津胃腸病院に続いて、今年から中津市民病院が参加しました。発起者の私の呼びかけに横田副院長をはじめ40名ほどの有志が集まり、24時間、交代で歩き続けました。大分市内からの参加がほとんどの中、会場まで2時間かかる当院は必然と少数精鋭とならざるを得ず、一人一人のウォーキング時間が長くなってしまいました。団結して乗り切り、24時間タスキをつなぐことができました。また、当院のテントには、市民病院かかりつけの患者さんが何人も立ち寄っていただき、激励の言葉をいただきました。診療以外の面で、何か、患者さんたちに関わりたくて模索し続けてきた私にとって、新しい一歩が踏み出せたような気がします。ご協力していただきました皆様、ありがとうございました。来年もまた頑張ります。

なお、数か月前から院内に設置しておりましたリレーフォーライフの募金箱に2万円ほどの募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。リレーフォーライフ大分事務局を通して、日本対がん協会に寄付させていただきましたことをこの場を借りてご報告いたします。



新人看護職員研修・ プリセプター研修を行いました

新人看護職員研修・プリセプター研修の一環として9月2、3日西谷温泉研修棟で1泊2日の宿泊研修を行いました。研修目的は「職場を離れて、仕事やプライベートでの楽しみや悩み等を語り、お互いの思いや考えを分かり合い親睦を深める」です。1日目は参加者全員で準備した、バーベキューの夕食をとり、夜は温泉で日頃の疲れを癒しました。2日目は伝達・イラストKYTの研修を行いました。普段とは違う環境の中で楽しみながら学ぶ事ができました。

日頃の緊張した職場を離れ共同作業・生活を行うことで新たな発見も多く、親睦を深めることができました。参加者からは「職場以外での関わりが持つ貴重な経験ができた」との意見が聞かれました。



院内コンサートを開催しました

小児科待合室の片隅に1台の電子ピアノがあります。「病院を音楽で溢らせて、癒しの場にしてください」と、ある女性からプレゼントされたピアノです。

今回中津少年少女合唱団の皆さんによる合唱、NOAS FMのパーソナリティでもあるAyaさんによるギターの弾き語りなど、院内コンサートを開催しました。

私達は「音楽に満ち溢れた病院にしよう」と、これからも院内コンサートを継続して開催したいと思っています。

文責：小路高史



診療連携集談会を開催しています

診療連携集談会は地域との医療連携を深めるため、当院と中津医師会との共催にて2000年後期より毎月（8月、12月を除く）紹介症例の検討を中心に開催してまいりましたが、2010年4月に100回に達し、大分県医師会から表彰を受けました。今後も地域の医師会の先生方と親密な関係を構築して行きたいと考えています。



ICT(感染コントロールチーム)です

外来には様々な病原体をもった患者さんがやってきます。入院患者さんの中にも感染症で入院された患者さんがおられます。問題は病原体と言うものが肉眼では見えないことから、気がつかない間に環境に広がったり人から人へ伝播したりすることです。病院環境は常に細菌やウイルスによる感染症が発生するリスクに晒されています。



我々 ICTは細菌検査室からの報告に基づき、いち早く院内の感染症の動向を察知し、院内で感染症が拡大しないように目を光らせています。中津市民病院のICTは2008年から活動を開始しておりますが、副院長をチームリーダーとして医師3名（内ICD2名）、検査技師1名、薬剤師1名、看護師3名、管理栄養士1名、総務係長1名より構成され1週間に1回のミーティングおよび病棟ラウンドを行っています。また、全国の感染症サーベイランス（JANIS）にも参加して情報の提供をおこなっています。

褥瘡対策委員会です

褥瘡対策委員会は医師2名、薬剤師1名、理学療法士1名、栄養士1名および各病棟の看護師からなるチームです。月2回褥瘡のある患者さんを対象に回診を行い治療方針について検討するほか、褥瘡の予防・ケアについての情報収集、教育的活動などを行っています。当院は重症患者、高齢者が多いので褥瘡の発生には注意が必要ですが、「褥瘡を発生させない、持ち込まれた褥瘡は治して帰す」ように努力していきたいと思います。よろしくお願ひします。



新任医師紹介

～今年度から当院に勤務する医師の紹介をします。～



産婦人科

岩永 直子 (いわなが なおこ)

専門：産婦人科一般

10月より常勤産婦人科医として赴任いたしました。

医師になってずっと大阪で勤務していました。大分は働くのも生活する

のも初めてで、まだまだ環境の違いに戸惑うこともあります。楽しく働かせていただいています。

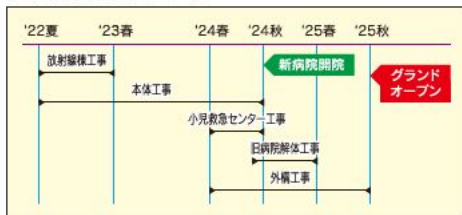
マイペースですが、こつこつ頑張りますのでよろしくお願いいたします。

院内研修会・研修報告会

講演内容	日時	講師	
第59回日本心臓病学会学術集会	10月6日	循環器内科医長	嶋田 寿文
第13回日本褥瘡学会学術集会		栄養士	末永 朋子
平成23年度第2回院内がん登録中級者研修会	10月20日	診療情報管理士	早川 友理
第31回日本川崎病学会・学術大会		小児科部長	合志 光史
第6回抗菌化学療法認定薬剤師講習会	10月27日	薬剤師	上ノ段 友里
第21回日本医療薬学会年会		薬剤師	権 玲奈
第5回日本緩和医療薬学会年会		外科医長	岡田 敏子
第19回日本乳癌学会学術総会	11月10日	小児科医師	後藤 綾子
第44回日本小児呼吸器疾患学会		内科医師	坂井 洋子
第49回日本糖尿病学会九州地方会		臨床検査技師	橋本 幸子
第50回日本臨床細胞学会秋季大会	11月17日	循環器内科医長	嶋田 寿文
第1回豊橋PCFイグデモストラーションに参加して 平成23年度九州地区母子健康保険事業研修会		保健師	深蔵 香里
第37回日本診療情報管理学会	12月1日	診療情報管理係長	橋口 誠
第49回日本癌治療学会学術集会		診療情報管理士	甲斐 美怜
		産婦人科医長	古川 雄一

新病院建設進捗状況

■建設スケジュール



※ 進捗状況は、完成まで毎回掲載します。



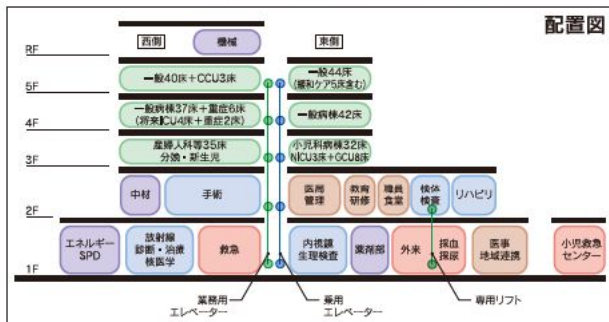
■本館東側外観

■概要

- 構造等 構造：鉄筋コンクリート造（免震構造・一部耐震構造）
- 高さ：20.7m
- 階数：地上5階・塔屋1階
- 規模 敷地面積：27,150㎡（第2駐車場除く）
- 延床面積：17,974㎡
- 病床数：250床



凡例	
	供給
	管理・厚生
	病棟
	診療
	外来



■本館西側外観
(いよいよ最上階に到達です)



■本館南側外観

発行／中津市立中津市民病院 編集／広報委員会
 TEL：0979-22-2480【代表】 FAX：0979-24-3839【代表】